

ら三ヶ年に亘つて基礎調査及び計画調査を実施して来たのですが、いよいよ計画の構想が出来上つて、その実現に乗り出すことになりました。内容は、坪井川、白川、緑川の三水系下流域を水の脅威から守り、いろんな施設を設け用水を合理的に配分し、未利用地下水を開発する抜本的な施設計画にあるわけですが、これに、都市計画、交通計画、営農改善計画、干拓計画などを併せて、総合開発の目的を達しようというのです。経済効果約七〇億円と見込んでいます。地元の方々との意見を十分聞きまして早く計画を完成し、現在実現化の方向にある九州地方開計画ともからんで是非実現させたいと思つています。

本田 緑川の方はどうですか。
松下 緑川は、昔下流の一部が改修されたばかりでして、水の脅威が非常に大きいものですから、特に矢部町の鮎ヶ瀬地点に多目的ダムを作つて、洪水調節、発電、灌漑の用に供しようとして、昨年から本格的な調査を始めましたので、本年もこれが中心になつて実現の歩を進めてゆくことになると思っています。

隈部 河川の話が出ましたが、私の方では、直轄河川の改修促進ということに力を入れたいと思つていますが、総合開発と関連があるのは勿論ですが、直轄工事をやつては白川、菊池川の改修工事をどん／＼やつて貰い、又緑川の直轄河川調査が済み次第今度は早急に工事にとりかかつて貰うよう中央に要望しているわけです。

本田 玉名平野の方は……
清水 私の方から申し上げますが、それは、玉名市を中心とする四〇〇〇ヘクタールの耕地の用水改良事業を行うも

のでして、本年度から着手するように農林省にも申請してあります。見透しは明らな思つていません。
本田 すでに三五億の投資のもとに実施してきた阿蘇の総合開発とともに、球磨、天草それと只今お話しになりました三地区の総合開発と、全県にわたつて総合開発の巨歩が足並みを揃えることになるわけですね。
ところで八代平野土地改良事業と畑地振興対策はどうですか。

畑地かんがいと

土地改良を……

清水 八代平野一〇、〇〇〇ヘクタール以上に対する土地改良事業は、古田ダム建設の主目的をなすもので、いよいよ本年から国営事業として着工の運びとなりました。事業の主なものはい排水系統の整備、河口部に分散している取水堰を古田ダムに統合して約五米水位をあげることに、水川、砂川掛及び干拓地への用水供給、秋落の甚だしい砂土地帯四〇〇〇ヘクタール以上に客土する等です。総事業費六八億余、完成は昭和四〇年の予定ですが、これらの土地条件の整備によつて、水稲早期作、二期作、晩期作、晩化作が導入され、経営が安定するという効果が期待されるわけです。

次に畑地振興対策ですが、菊池、花房台地、託麻、木山台地の深層地下水調査、ボーリング開始があります。御存知のように菊池、花房台地は二、〇〇〇ヘクタール託麻、木山台地は二、五〇〇ヘクタールと本県における代表的な畑作地帯でありまして、これらの地域に対し、いよいよ畑地かんがいの

本格的な対策の手がうたれることになりす。
松下 有明、不知火の干拓もいよいよですな。
本田 農林水産商工と、かなり広い部門に亘りますが、経済部次長さんから

島津 やりたいことは沢山ありますが、幾つかに焦点を絞つてみましょう。
まづ、いよいよ本格化しようとする事業についてあげてみましょう。
石油、天然ガスがいよいよボーリングを開始します。昨年天草石油として報道面を賑はしたこのニュースもいよいよ本格化する見通しが出て参つたわけですね。

それから我々が高冷地畑作安定のための代作及び水稲早期後作として試作してきました甜菜が順調な成績をあげてまいりました。製糖工場新設の見透しも明るくなつてきました。地上部及びほり粕が飼料として好適なものでして、この点酪農振興とも密接な関連を持つてきます。
最後に特に申し上げておきたいことは、農林水産団体の育成と、中小企業金融対策ということですね。この問題については、充分検討を加え、力を入れてゆきたいと思つております。

同じく八代では、八代港の整備も含めた臨海工業地帯造成の促進、これらの大きな希望もてる問題があります。
森永 三一年度からはじまつた農林省の新農山漁村建設方針が従来県が樹立実施してきた産業振興計画の行き方と一致するもので、その受入れ基本態勢が整備して来たため、全国でも最も多く六八地区の指定を受け、すでに六億の工事をやつてきています。これも本年

期待される
青年婦人の活動……
竹原 (紙上参加)では先ず青少年の育成の面から申し上げてみますと、大体的な三点です。その一つは、勤労青少年を対象とした青年学級の拡充をはかりたいということ。これは現在各郡教育出張所ごとに一つの割合で県が指定した青年学級がありますが、これを今年に倍以上増して、生産技術の向上に重点をおいた職業教育をほこして参りたいと考えております。
第二番目は、青少年の情操教育にもつと積極的な努力をいたしたいということ。例えば、音楽、映画、演劇等の観賞に恵まれない勤労青少年に、これらのものを直かに触れさせ、例えば自ら演劇し、劇を脚色するなどのことによつて、人間性の涵養をはかりたいということ。
その三は、青少年の社会活動の面の助長をはかりたいということ。つまり、現在もそれぞれ活動しておりますボイスカウト、ガールスカウト子供会等の団体の育成です。それも主としてローテーションの社会性の育成にねらいでありまして、日常生活の中でこれを培つて参りたいと思つております。
以上青少年対策として考えておりますが、婦人対策としては、婦人学級の育成、婦人の政治教育、環境美化を通じての情操教育と言つたことを重点的にとり上げて努力したいと考えております。婦人学級の面では、ともすれば行事中心となり勝ちな現在の行き方を日常

は一層の力こぶを入れるわけですがこれによつて新しい農村への生れかわりが着々進んでいくわけですね。
本田 次に道路橋梁等について……

天草架橋の実現へ

隈部 まづ天草架橋の早期実現ということ。この橋は、本県の産業経済の発達に勿論、島民の文化向上福利の増進に、更に、国立公園天草の観光発展に、その価値の大きさは充分認識されている所です。夢の架け橋と云われたこの橋も、連絡道路が本年の公共事業としてその第一歩が始まることになつており、事業の早期完成の為、更に努力したいと思つています。
それから、九州横断道路、九州中部産業開発道路、九州縦貫道路の本格化があります。横断道路は、別府、阿蘇熊本、雲仙、長崎を結ぶ産業開発幹線道路であると同時に、国際観光ルートの開発道路ともなるわけで、阿蘇の観光価値に更にプラスする道路となるわけですね。産業開発道路は、北九州から日田盆地久住を経て本県奥地山林地帯を縫つて南九州に至る計画線で、本年四、〇〇〇以上の予算を要望して居ります。未開発の夥しい森林資源、地下資源、観光資源が、今後いかに開発されるか期待して待つべきものがあると思われまふ。

なお、九州縦貫道路は、宮地高森線が貫通してさらに明るい見通しをもつております。
次に健軍飛行場の完成と、鹿児島本線複線化があります。複線化は、熊本宇土間が今年着手するよう折衝が行われ、すでに鉄道利用債の引受けについて

的な学習、つまり、環境の美化をはかるとか、家族計画の普及だとか、身近かな問題を、小集団で努力しようといった地道な活動に改めて参りたいと思つております。
次に、婦人の政治意識の向上ということですが、台所と政治とは直結しているということ。これを充分理解するために政治的な批判力を養い、婦人も積極的に政治に協力するということ構えを養う指導をいたしたいと思つております。
最後に、いよいよ明年は団体開催の年でもありますので、花いっぱい運動、清掃活動などの環境美化運動とともに公衆道徳の高揚運動をも併せて、婦人自らの手で社会を明るく美しく、楽しいものにし、ひいては子供達の情操教育にもこれを及ぼしていくといった指導を強く進めて参りたいと考えております。

大体以上のことを考えておるわけでありまして県民皆様のご支援をお願い申し上げます。
本田 それでは、この辺で本日の新春県政座談会を終りたいと思つてます。県経済の興隆と県民福祉の増大を目標としてきた第一次第二次の産業振興計画、総合開発計画、それに続く更に広汎な長期的な観点からする計画建設は、大きく根を下ろし、明るいニュースを加えて新しい年の歩みを始めようとしております。私達の努力目標が、県民皆さんのご理解とご協力によつて達成できますよう願ひしてこの会を閉じたいと思つてます。長い時間皆さん有難うございました。

簡易水道日本……

本田 衛生関係ではいかがですか。
守任 地区衛生組織をどう確立していくかにつきますと思つてます。この中には、簡易水道対策、結核対策、家族計画等もすべてふくまれるわけです。これまでも非常によくやつてきておりますが、例えば、簡易水道について申しますと、現在二一九ヶ所、給水人口二〇万人、経費約一〇億で山間僻地の部落にも普及して、日本一なんです。これを将来、五〇万給水人口にしようと思つておるわけです。

本田 では、これまでいろいろと建設面を中心にとりあげてきましたが、民労働の面から眺めてみたいと思つてますが、**重石** 所謂基本は、陽の当らぬ町に援護の手をうつ、さしのばすということ、積極的に県民の所得を増大して県民の幸せをはかるいろいろな政策の裏付けとしての政策、とも云えますね。たとえば、今年、老人福祉の問題、労働

でも話合いがつき、明るい見通しがつております。
それからもう一つ、熊本駅の新築にともなう駅前広場の整備があります。現在六、〇〇〇平方メートルの広場が一四、八〇〇平方メートルに拡がり、ターミナル、緑地帯等、いろいろの施設をほどこすことになつております。三四年には、広場の拡張と舗装が完了する予定で、三五年には熊本表玄関として堂々たる広場が実現することになります。
本田 三五年といえは熊本に国民体育大会が開かれる予定ですが……?
隈部 それまでに完成を目指しているわけです。

福祉の問題とを重点として取り組みたいと思つてます。老人福祉には、養老院の増設及び老人クラブの育成があります。労働福祉の面では、こゝで三点をとりあげますならば一つが、昨年桜井知事が大阪の財界と懇談された際話に出ました通勤寮の建設の問題です。県外就職者にとつてその最も隘路となつていた宿舎の問題に、明るい希望が持てれば、本人達ももとより県としても大きなプラスになると思つております。就職促進の為に寮建設ということですね。
次に昨年荒尾に出きた労働金庫支所を、今年八代にも増設しようとするものです。三つが国立総合職業訓練所の誘致です。これは、最近産業界に特に高度の技術が必要とする部門が急激に増えてきたので、国がこれに対応する為の総合職業訓練所を設けることになつたのです。県では早くからこの誘致に努力して来たのですが、いよいよ敷地も菊池の黒石原にきまり、労働省に正式な申請書を提出するという明るい見通しがついたのであります。
本田 内容などは……
重石 訓練職能は、テレビや電気機器修理など八種目定員二四〇人となつております。こゝで訓練を受けた人達が、県産業界に大きな役割を果す日も近いという明るい話題です。
それから従来もやつてきたことですが、ボーダーライン層に対しては世帯再生資金、医療費貸付資金、更生資金の強化による防貧対策の推進、青少年不良化防止及び精薄児に対する施設整備等の青少年の保護育成には、今年も力を入れることになつております。
本田 それでは、教育庁のほうに婦人青年対策を一つ伺つてみましょう。